

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 日本ライフライン株式会社  
 コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鈴木 啓介  
 (氏名) 山田 健二

上場取引所 東  
 TEL 03-6711-5200

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	21,699	15.1	2,565	87.9	2,565	72.6	2,157	190.3
27年3月期第3四半期	18,859	3.7	1,365	5.3	1,486	2.3	743	11.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,156百万円 (181.3%) 27年3月期第3四半期 766百万円 (8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	111.95	—
27年3月期第3四半期	34.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	33,159		15,266		46.0	
27年3月期	33,163		15,385		46.4	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 15,266百万円 27年3月期 15,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				17.50	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,584	15.1	2,785	51.0	2,829	38.9	2,171	93.1	113.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	22,604,994 株	27年3月期	22,604,994 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	4,001,332 株	27年3月期	1,001,186 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	19,270,398 株	27年3月期3Q	21,603,903 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
5. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(売上高について)

当第3四半期連結累計期間の販売実績といたしましては、リズムデバイスにおきまして、昨年3月に導入したMRI（磁気共鳴画像）検査に対応した心臓ペースメーカが寄与したほか、EP/アブレーションおよび外科関連におきましても、オンリーワン製品をはじめとする自社グループ製品の販売が引き続き伸長していることから、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。しかしながら、インターベンションにおきましては、一部の仕入商品の販売を前期末で終了した影響により、前年同期に比べ売上高は減少いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は216億9千9百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

&lt;品目別売上高&gt;

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	増減率
リズムデバイス	3,138	4,132	31.7%
EP/アブレーション	8,404	10,273	22.2%
外科関連	4,526	4,832	6.8%
インターベンション	1,923	1,604	△16.6%
その他	866	857	△1.1%
合計	18,859	21,699	15.1%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）、 CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、 心腔内除細動カテーテル、高周波心房中隔穿刺針
外科関連	人工血管、オープンステントグラフト、ステントグラフト、人工心臓弁、 人工弁輪
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、貫通用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

(リズムデバイス)

心臓ペースメーカにおきましては、昨年3月より販売を開始した条件付きMRI（磁気共鳴画像）検査対応ペースメーカ「KORA100（コーラ100）」の寄与により、MRI対応商品の取扱いがなかった前年同期に比べ、販売数量が増加いたしました。また、「KORA100」では対応ができなかった胸部のMRI検査を行うことが可能な新商品「KORA250（コーラ250）」の薬事承認を本年1月に取得し、3月の販売開始を予定していることから、さらなる販売数量の増加に取り組んでまいります。

またICD（植込み型除細動器）関連におきましては、競争環境が依然として厳しいものの、昨年11月より従来品に比べて小型であり、世界最長クラスの電池寿命を有する新商品「PLATINIUM（プラチニウム）」の販売を開始しておりますので、引き続き拡販に努めてまいります。

以上により、リズムデバイスの売上高は41億3千2百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

(EP/アブレーション)

EPカテーテルにおきましては、オンリーワン製品である心腔内除細動システムの専用カテーテルである「BeeAT（ビート）」が引き続き好調に推移したほか、昨年4月より販売を開始した食道温モニタリングシステム用カテーテル「Esophastar（エソファスター）」につきましても、同製品が使用される心房細動のアブレーション治療の症例数が増加していることもあり、市場導入が順調に進みました。

アブレーションカテーテルにおきましては、イリグレーション機能付きアブレーションカテーテル「Bernoulli（ベ

ルヌーイ)」の本格的な販売開始が遅れており、販売数量は前年同期に比べ減少いたしました。

また、オンリーワン商品である高周波心房中隔穿刺針「RFニードル」につきましては、心房細動のアブレーション治療等の症例において広く行われている心房中隔穿刺術の安全性を高める医療機器として、高く評価されており、販売数量が増加いたしました。

以上により、EP/アブレーションの売上高は102億7千3百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

#### （外科関連）

人工血管関連におきましては、オンリーワン製品である「J-Graft（ジェイ・グラフト）オープンステントグラフト」が引き続き伸長いたしました。本製品を用いることにより、開胸手術を伴う胸部大動脈瘤治療の低侵襲化が期待できることから、新たな治療方法として普及が進んでおります。

また、カテーテルを用いて経皮的に大動脈瘤の治療を行うステントグラフトにつきましては、従来からの胸部用の商品の販売数量が増加したほか、本年1月より、新たに腹部用の商品である「AFXステントグラフトシステム」の販売を開始いたしました。腹部用の商品がラインナップに加わったことにより、人工血管関連の売上高のさらなる増加が期待されます。

人工弁関連におきましては、昨年4月からの保険償還価格の段階的引き下げにより、生体弁の売上高が前年同期に比べ減少したものの、昨年12月より抗石灰化処理を施すことで耐久性を高めた新商品「CROWN PRT（クラウン・PRT）」を導入し、既存商品からの切り替えを行ったことから、売上高の増加に努めてまいります。

以上により、外科関連の売上高は48億3千2百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

#### （インターベンション）

バルーンカテーテルにおきましては、従来の商品から、自社製品である「canPass（キャンパス）」や拡張力が高いタイプの仕入商品である「Pantera LEO（パンテラ・レオ）」への切り替えが進んだことにより利益率が改善いたしました。また、ガイドワイヤーにおきましては、末梢用の製品の拡販に取り組んだものの、企業間競争が厳しいことから、前年同期に比べ売上高は減少いたしました。

その他の品目におきましては、冠動脈の狭窄部における治療機器の通過をサポートし、手技の効率化を可能とする貫通用カテーテル「Guideliner（ガイドライナー）」が伸長したものの、一部商品の取扱いを前期末で終了した影響を吸収するまでには至りませんでした。

また、本年1月に心房中隔欠損閉鎖器具「Figulla Flex II（フィギュラ・フレックスII）」の薬事承認を取得し、2月より販売を開始いたします。同商品は、左右の心房を隔てる壁である心房中隔に先天的に穴が開いている疾患に対し、カテーテルを用いて低侵襲に治療することができる医療機器であり、当社としては同市場への再参入となることから速やかな普及に努めてまいります。

以上により、インターベンションの売上高は16億4百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

#### （その他）

連結子会社で販売する血液浄化関連商品等のその他の売上高は8億5千7百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

#### （損益について）

##### ①営業利益

オンリーワン製品を中心に収益性の高い自社グループ製品の売上構成比が上昇したことから、売上総利益率は前年同期に比べ2.6ポイント改善いたしました。その一方で、新商品の導入のための治験費用や検査費等の増加により、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ増加いたしました。以上のことから、当第3四半期連結累計期間の営業利益は25億6千5百万円（前年同期比87.9%増）となりました。

##### ②経常利益

受取利息及び為替差益等の営業外収益を1億7千5百万円、自己株式取得に係るシンジケートローン手数料等の営業外費用を1億7千5百万円計上したことから、当第3四半期連結累計期間の経常利益は25億6千5百万円（前年同期比72.6%増）となりました。

③親会社株主に帰属する四半期純利益

昨年4月22日付の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」にて開示しております投資有価証券売却益10億2千8百万円、小山ファクトリーに係る助成金7千3百万円を、それぞれ特別利益として計上した一方で、子会社工場の閉鎖に伴う固定資産除却損6千2百万円を特別損失として計上したことから、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は21億5千7百万円（前年同期比190.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結貸借対照表に関する分析)

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べ4億9千3百万円増加し、242億8千2百万円となりました。これは主として、たな卸資産が15億7千9百万円増加した一方で、未収入金の減少を主たる要因として、その他が15億6千5百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ4億9千7百万円減少し、88億7千6百万円となりました。これは主として投資その他の資産が4億6千4百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末から4百万円減少し、331億5千9百万円となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末に比べ9億7千万円減少し、120億4千8百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が25億5千7百万円減少した一方で、借入金金が13億3千9百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ10億8千5百万円増加し、58億4千4百万円となりました。これは主として自己株式公開買付け資金として長期借入金を実行したことにより、長期借入金金が11億6千5百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末から1億1千4百万円増加し、178億9千2百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億1千8百万円減少し、152億6千6百万円となりました。これは主として自己株式が19億5千万円増加したこと、及び、剰余金の配当を3億2千4百万円実施したこと、並びに、親会社株主に帰属する四半期純利益を21億5千7百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間におきましては、売上高は概ね当初計画水準を達成しており、中でも自社グループ製品の販売が好調に推移したことから、売上総利益につきましては計画を上回る実績となりました。

また、販売費及び一般管理費につきましては、商品導入に係る薬事関連費用等の支出の遅れにより、当初計画を下回って推移いたしました。以上のことから、営業利益以降の各段階利益につきましても当初計画を上回る結果となりました。

第4四半期におきましては、新商品等の寄与により、売上高は計画を上回って堅調に推移することが見込まれます。しかしながら販売費及び一般管理費につきましては、未執行であった薬事関連費用等のほか、新たに新製品の開発費等の発生を見込んでいることから、通期業績といたしましては、平成27年4月30日に公表した通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,539	2,487
受取手形及び売掛金	7,967	8,991
有価証券	406	—
たな卸資産	9,784	11,363
繰延税金資産	435	348
その他	2,657	1,091
流動資産合計	23,789	24,282
固定資産		
有形固定資産	5,828	5,849
無形固定資産		
のれん	77	19
その他	37	41
無形固定資産合計	114	61
投資その他の資産		
その他	3,487	2,972
貸倒引当金	△57	△6
投資その他の資産合計	3,430	2,966
固定資産合計	9,373	8,876
資産合計	33,163	33,159
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,061	1,504
短期借入金	4,870	6,170
1年内返済予定の長期借入金	1,430	1,470
未払金	854	874
未払法人税等	449	984
賞与引当金	42	406
役員賞与引当金	13	—
その他	1,296	637
流動負債合計	13,018	12,048
固定負債		
長期借入金	1,957	3,122
長期未払金	158	26
繰延税金負債	12	—
役員退職慰労引当金	297	266
退職給付に係る負債	1,883	1,947
その他	449	482
固定負債合計	4,759	5,844
負債合計	17,778	17,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,115	2,115
資本剰余金	2,328	2,327
利益剰余金	11,363	13,196
自己株式	△351	△2,301
株主資本合計	15,454	15,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	△7
為替換算調整勘定	36	44
退職給付に係る調整累計額	△130	△107
その他の包括利益累計額合計	△69	△70
純資産合計	15,385	15,266
負債純資産合計	33,163	33,159

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	18,859	21,699
売上原価	8,662	9,396
売上総利益	10,196	12,303
販売費及び一般管理費	8,831	9,737
営業利益	1,365	2,565
営業外収益		
受取利息	10	62
受取配当金	1	0
業務受託料	30	—
為替差益	69	14
その他	86	98
営業外収益合計	198	175
営業外費用		
支払利息	31	38
貸倒引当金繰入額	—	0
シンジケートローン手数料	—	63
その他	46	73
営業外費用合計	77	175
経常利益	1,486	2,565
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	1,028
補助金収入	55	74
特別利益合計	55	1,103
特別損失		
減損損失	43	—
固定資産除却損	32	65
投資有価証券評価損	35	2
その他	16	—
特別損失合計	127	67
税金等調整前四半期純利益	1,414	3,602
法人税、住民税及び事業税	597	1,350
法人税等調整額	74	94
法人税等合計	671	1,444
四半期純利益	743	2,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	743	2,157

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	743	2,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△31
為替換算調整勘定	7	8
退職給付に係る調整額	9	23
その他の包括利益合計	23	△0
四半期包括利益	766	2,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766	2,156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月24日付で公開買付けにより自己株式を取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,950百万円(3,000千株)増加し、その他の増加と併せて、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は、2,301百万円(4,001千株)となっております。

また、当社は、平成27年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記に記載した株数は、全て株式分割後の株数で記載しております。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、主な販売先は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものではありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであり、著しい変動はありません。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
EP/アブレーションカテーテル類	2,803	2,920
外科関連	372	512
インターベンション	395	527
その他	632	530
合計	4,204	4,491

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

## ③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであり、著しい変動はありません。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
リズムデバイス	3,138	4,132
EP/アブレーション	8,404	10,273
外科関連	4,526	4,832
インターベンション	1,923	1,604
その他	866	857
合計	18,859	21,699

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。